



札幌市議会議員 厚別区

こじま ゆみ

第2回定例市議会(6/12~7/11)

令和5年度 札幌市産後ケア事業

出産後、お母さんが少しでも安心して子育てができるよう経験豊富な助産師が、産後の体調管理と育児をサポートする「産後ケア事業」です。[自宅に帰っても手伝ってくれる人がいなく不安] [赤ちゃんのお世話の仕方や生活リズムがわからない] [お産と育児の疲れから体調が良くない] など、1人で悩まず、まずはご相談ください。

利用できる方

札幌市に住民票がある生後6か月未満の赤ちゃんとお母さんで、下記のいずれかに当てはまる方

- 家族からの援助が受けられない
- 出産や育児の疲れから体や気持ちの調子がよくない
- 育児について心配なことや困りごとがある

産後ケアの内容

- お母さんが困っていること（赤ちゃんのあやし方、授乳、寝かしつけ、抱っこ、おんぶ、沐浴、夜泣き等）の相談をお聞きし、対応方法を考える
- お母さんにゆっくり休息と十分な食事をとっていただく

申込方法・利用の流れ

※出産後の申込・予約となります。

希望する助産所に
直接電話で申込

札幌市から利用
決定通知書送付

産後ケア利用



右のQRコード読み取り、札幌市産後ケア事業実施助産所をご確認し事業所に直接お申し込みください。

経産婦の方は上のお子様も一緒に利用できます。(追加料金あり)

受付日・時間：月曜日～金曜日(祝日及び12/29～1/3を除く)

9:00～12:00 13:00～17:00



さっぽろ子育て情報サイト
<産後ケア事業>

「産後ケア事業の拡充について」、産後周囲に頼れる人がいなくてもお母さんが少しでも安心して子育てができるよう、妊娠期、出産、産褥期、産後という赤ちゃんという新しい生命との出会いに向き合う経験豊富な助産師が温かく寄り添い、産後の身体と心のケアをサポートしてくれる事業は、子どもを産み育てやすい環境整備において重要です。また、産後うつ予防、早期発見、乳児の成長発達に助産師が関わることで不適切な養育や児童虐待の防止にも寄与することができます。育児に対する不安を軽減、解消させ、ネウボウ的サポートが子どもの成長発達を一緒に見守っていけるよう月齢の拡大を行ったり、上の子どもがいても利用しやすいよう訪問を行うなど母子ともに健やかに安心して利用できる産後ケアの更なる拡充を要望いたしました。

スマートシティ推進事業について、質問いたしました。



データ連携基盤の役割と効果について

この事業は、内閣府とデジタル庁が提案募集を行ったデジタル田園都市国家構想交付金のうち、オープンなデータ連携基盤を活用するモデルとなり得る取組として、本市からの提案が今年3月に採択を受けたと聞いている。データ連携基盤を活用したサービスを実装し、都市機能集積地である「新さっぽろ地区」と住民の高齢化に伴う課題先進地域といえる「もみじ台・青葉地区」との連携・相互発展に寄与する新たなスマートシティモデルの構築を目指すものだが、ここで活用されるデータ連携基盤は、サービス間の多様なデータを共有して利活用することを促進する機能を持つ。我が会派では、人口減少局面を迎えた本市において、地域の課題を解決し、市民生活の質の向上に寄与するものとして、また、新たな産業を継続して創出するため、このデータ連携基盤にかねてより注目してきたところだが、それを活用した具体的な事業が厚別区を対象に始まるということで、大いに期待している。この事業において活用するデータ連携基盤の役割とその効果について伺う。

答弁：基盤は生活支援・健康増進など5分野のサービスをつなぐ役割があり、具体には共通IDでの認証により利用実績を集約することで、利用者の実態を正確に把握し、個人に最適化したサービスを提供する。

健康増進サービスの内容について

札幌市スマートシティ推進協議会は、もみじ台・青葉地区のアクティブシニアに対して、国から採択を受けた実施計画に沿って、5つの分野のサービスを展開する計画になっている。これらのサービスは、昨年度実施した調査業務を通じて、地域のニーズや課題を把握した上で企画されたもので、住民の生活の質を向上させることを目指している。中でも健康増進は、市内で最も高齢化率が高い「もみじ台」とそれに続く「青葉」の両地区にとっては重要な課題となっており、今は元気に活動しているシニアであっても、健康維持や今後のフレイル予防などへの関心は高いことから、この分野においてデジタル技術を活用したサービスを提供することは、時代のニーズに応える取組であると考えている。

健康増進サービスについて、どの事業者とどのような取組を行っていくのか伺う。

答弁：もみじ台地区において、現在地域住民を対象に健康ステーションを展開しているホクノスーパーと連携し、健康ステーションでは健康相談や血圧等のバイタル測定のほか、体操などの健康イベントを行っていきたいと考えている。

今後のサービス事業者参入の考え方について

地域の中心ともいえるホクノスーパーと密着した取組内容は素晴らしいです。しかし、今回の取組は市内で最も高齢化が進展する地域において、健康増進を実現するという目的を達成するために必要な取組のごく一部でしかないと考えている。今後、さらに市民のニーズに沿ったサービスを提供していくために、例えば、医療や看護と結びつけたサービスを始めとした様々な事業者の参入が求められる。それが冒頭の産業の振興にも寄与するものと考えている。

次年度以降の事業展開において、新たなサービス事業者の参入についての考え方を伺う。

答弁：今後は、新たなサービス事業者の参入を促す必要があると認識している。そのために、一定の基準を作りつつ、新規参入事業者がデータ連携基盤の機能やデータを活用可能とする。